

本日、山中 竹春 横浜市長が 小倉 将信 こども政策担当大臣、小林 茂樹 環境副大臣へ 提案・要望を行いました

本日（11月15日（火））、山中 竹春 横浜市長が、次のとおり国の制度及び予算に関する提案・要望を行いましたので、お知らせします。

1 日時・提案先・提案内容

日時	提案・要望先	主な提案・要望内容
11月15日（火） 13時15分 ～13時30分	内閣府 おぐら まさのぶ 小倉 将信 こども政策担当大臣	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育人材の確保・定着に向けた支援 ・ 子どもの医療費助成の充実 ※九都県市首脳会議を代表して、「保育人材の確保・定着に向けた支援について」の要請書を併せてお渡ししました。
同日 14時30分 ～14時45分	環境省 こばやし しげき 小林 茂樹 環境副大臣	<ul style="list-style-type: none"> ・ プラスチック資源循環の推進

2 提案・要望の様子 ※写真データを希望される場合は、お問合せ先までご連絡ください。



（小倉 こども政策担当大臣）



（小林 環境副大臣）

3 山中 竹春 横浜市長コメント

このたび、来年度の政府予算編成に向けて、「保育人材の確保・定着に向けた支援」、「子どもの医療費助成の充実」及び「プラスチック資源循環の推進」について、提案・要望いたしました。

小倉 こども政策担当大臣からは、「保育については、現場の意見を聞きながら保育現場の負担軽減に向けてできることから着手していきたい。来年、こども家庭庁が設立される。将来に向けた子どもたちへの取組について、様々なところから意見をいただきながらしっかり議論していきたい。」とのコメントをいただきました。

小林 環境副大臣からは、「環境省として、プラスチック資源循環の推進に向けた後押しをしていきたい。地域の特性に応じた環境への取組を進める自治体や市民を支援していきたい。」とのコメントをいただきました。

このたびの提案・要望に挙げた施策は、横浜市が「子育てしたいまち 次世代を共に育むまち ヨコハマ」の実現を目指し、将来に向けて持続的に成長・発展していくうえで必要不可欠なものです。

国や県、周辺自治体等と緊密に連携して、日本全体の課題解決と活力の創出に貢献していくうえでも、国において、このたびの提案・要望をぜひ実現していただきたいと思います。

※今回の提案・要望書は以下のサイトでご覧になれます。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/seisaku/torikumi/bunken/yobo/2022teian.html>

お問合せ先

政策局大都市制度推進本部室広域行政課担当課長 長久 伸子 Tel 045-671-2109
